



RM シリーズワイヤレスマイクロフォンシステム

マイクロフォンアクセスポイント

RM-WAP-16 RM-WAP-8

ワイヤレスマイクロфон

RM-WOM RM-WDR RM-WGL RM-WGS

マイクロフォンチャージャー

RM-WCH-8

Web GUI デバイスマネージャー操作ガイド

目次

はじめに	4
本書の内容について	4
ソフトウェアのインターフェースについて	4
画面上の便利なアイコンについて	4
ソフトウェアの画面イメージと設定パラメーターの反映について	5
Web GUI RM-WAP デバイスマネージャーの画面ツリー	6
[HOME]	7
① [System Status]	7
② [LED Indication Status]	8
③ [Clock Synchronization Status]	8
④ [Microphone Charger Status]	9
⑤ [Microphone Status]	9
[SETTINGS]	11
[ADMIN]	11
① [Password Settings]	11
② [Security Settings]	12
③ [SNMP Settings]	12
④ [Deployment Server Settings]	13
⑤ [Syslog Settings]	13
[CHARGER]	14
① [Chargers]	14
[MICROPHONE]	15
① [Microphones]	15
[AUDIO]	22
① [Input Selector Settings]	22
② [Automixer]	23
③ [Dante Channels Setup]	25
[DECT]	26
① [DECT]	26
② [DECT Synchronization]	27
[NETWORK]	28
① [Network] - [IP Address Settings]	28
② [Network] - [AP Name Settings]	29
③ [Dante Network] - [IP Address Settings]	30
④ [802.1X Settings]	31
[REGION]	32
① [Time Settings]	32
② [Locale]	33

[TOOLS] ---

[SITE SURVEY]	35
① [Export History]	36
② [Import History]	36
[UPDATE]	37
① [Firmware Update]	38
② [Upload New Firmware]	39
[CONFIGURATION]	40
① [Export Configuration]	40
② [Import Configuration]	40
③ [Reset Defaults]	41
[LOGS]	42
① [Logs]	42

はじめに

本書は、ヤマハ RM シリーズワイヤレスマイクロフォンシステムの設定や操作を行うアプリケーションソフトウェア Web GUI RM-WAP デバイスマネージャーの機能や操作方法について説明するものです。

また、本書は「RM シリーズ ワイヤレスマイクロフォンシステム リファレンスマニュアル」の下位文書です。リファレンスマニュアルでは、機器の接続方法や取り扱いについて総合的に説明しています。あわせてお読みください。

本書の内容について

- このソフトウェアおよび操作ガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有しています。
- このソフトウェアおよび操作ガイドの一部、または全部を無断で複製・改変することはできません。
- このソフトウェアおよび操作ガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアおよび操作ガイドは、改良のため予告なしに変更されることがあります。
- このソフトウェアはタッチパネルによる操作の動作保証はしていません。
- この操作ガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- この操作ガイドに記載されている会社名および商品名等は各社の登録商標または商標です。
- この操作ガイドは発行時点での最新仕様で説明しています。最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

ソフトウェアのインターフェースについて

このソフトウェアは、コンピューターのブラウザーアプリケーションを使用します。ブラウザー上に表示された設定画面を操作して機器を設定します。

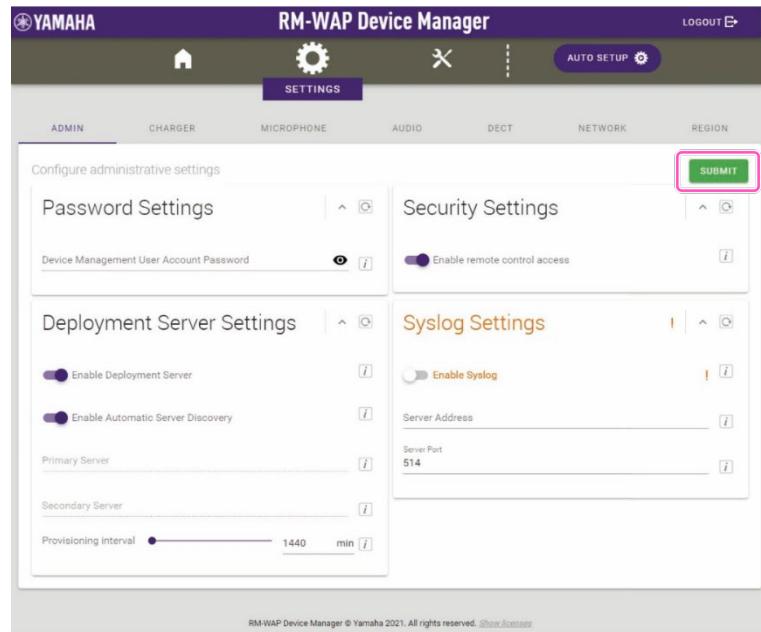
画面上の便利なアイコンについて

このソフトウェアの画面上には、機能の説明や機器の状態を知るのに便利なアイコンが用意されています。

	インフォメーションアイコン	マウスオーバーすると、その項目に関する詳細情報が表示されます。
	リロードアイコン	クリックすると画面の表示が更新されます。
	アイデンティファイアイコン	クリックすると該当する機器のインジケーターが点滅します。
	リンクアイコン	クリックすると、その項目に関する別の画面へ誘導されます。

ソフトウェアの画面イメージと設定パラメーターの反映について

デバイスマネージャー上で設定を変更したあとは、必ず[SUBMIT]ボタンをクリックしてください。[SUBMIT]ボタンは常に画面の右上に表示されます。



Web GUI RM-WAPデバイスマネージャーの画面ツリー

各画面の機能については右列に記載のページをお読みください。

メニュー	タブ	機能	ページ
[HOME]			
		[System Status]	7
		[LED Indication Status]	8
		[Clock Synchronization Status]	8
		[Microphone Charger Status]	9
		[Microphone Status]	9
[SETTINGS]			
	[ADMIN]	[Password Settings]	11
		[Security Settings]	12
		[SNMP Settings]	12
		[Deployment Server Settings]	13
		[Syslog Settings]	13
	[CHARGER]	[Chargers]	14
	[MICROPHONE]	[Microphones]	15
	[AUDIO]	[Input Selector Settings]	22
		[Automixer]	23
		[Dante Channels Setup]	25
	[DECT]	[DECT]	26
		[DECT Synchronization]	27
	[NETWORK]	[Network]	28
		[Dante Network]	30
		[802.1X Settings]	31
	[REGION]	[Time Settings]	32
		[Locale]	33
		[Daylight Saving Settings]	34
[TOOLS]			
	[SITE SURVEY]	[Export History]	36
		[Import History]	36
	[UPDATE]	[Firmware Update]	38
		[Upload New Firmware]	39
	[CONFIGURATION]	[Export Configuration]	40
		[Import Configuration]	40
		[Reset Defaults]	41
	[LOGS]	[Logs]	42

[HOME]

HOME 画面では、各種ステータス情報を確認できます。

The screenshot shows the RM-WAP Device Manager interface with the following sections:

- System Status:** Displays basic device information including Hostname (Y001-Yamaha-RM-WAP-16-b27053), RFPI (0357040B58, 0357040B59), MAC Address (ac:44:f2:b2:70:53), Network IP Address (169.254.8.158), Model (RM-WAP-16), Main / Dante / Dect Version (2.2.6 / 4.2.6.4 / 202), Serial Number (Z6J001307), and Region (Japan).
- Clock Synchronization Status:** Shows Dante and DECT as Leader.
- Microphone Charger Status:** Lists a single charger (01-RM-WCH-8-0357044DE8) with IP(E) 0357044DE8 and FW Status as green.
- LED Indication Status:** Shows Power and Status both at OK.
- Microphone Status:** A detailed table listing 8 microphones (Mic 1-8) with their respective details like Name, Type, IP(E), Link Quality, Dante Channel, Battery Status, Disconnect Time, Connect Time, and Pw Update Status.

① [System Status]

アクセスポイントの基本情報が表示されます。

This is a detailed view of the System Status section from the previous screenshot. It lists the following host information:

Hostname:	Y001-Yamaha-RM-WAP-8-a28e16
RFPI:	035700D800
MAC Address:	ac:44:f2:a2:8e:16
Network IP Address:	169.254.7.181
Model:	RM-WAP-8
Main / Dante / Dect Version:	1.7.12b.125 / 4.2.6.4 / 107
Serial Number:	Z6K000103
Region:	Japan

項目

内容

Hostname

ホスト名が表示されます。

RFPI	DECT 通信用のアクセスポイントの識別番号が表示されます。 RFPI (Radio Fixed Part Identity)
MAC Address	MAC アドレスが表示されます。
Network IP Address	ネットワーク IP アドレスが表示されます。
Model	モデル名が表示されます。
Main / Dante / Dect Version	本機 / Dante / Dect のバージョンが表示されます。
Serial Number	シリアル番号が表示されます。
Region	本製品を使用できる国または地域が表示されます。

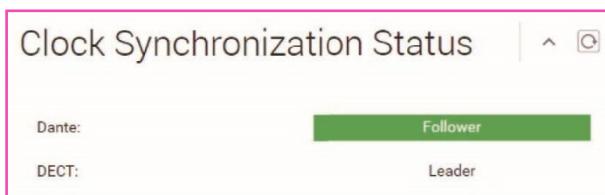
② [LED Indication Status]

アクセスポイントのインジケーターの状態が表示されます。



項目	表示	本製品の状態
Power	[OK] 緑色	起動している
Status	[OK] 白色	通常状態
	[Firmware Updating] 白色	ファームウェアをアップデートしている
	[Pairing] 青色	ペアリング待機状態 / ペアリングしている
	[Identify] 赤色	アイデンティファイ機能に応答している

③ [Clock Synchronization Status]



項目	内容
Dante	Dante のワードクロックの状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> [Leader] [Follower] ワードクロックに異常がある場合は橙色で表示されます。

DECT

DECT フレームの同期の状態が表示されます。

- [Leader]
- [Follower]

複数台のアクセスポイントを同じグループに設定している場合、1台が Leader になります。その他は Follower になります。アクセスポイントのグループ設定は、[SETTINGS] > [DECT] > [DECT Synchronization]で設定します。

④ [Microphone Charger Status]

チャージャーの名称が表示されます。

Microphone Charger Status		
Charger Name	IPEI	FW Status
1 01-RM-WCH-8-0357026748	0357026748	✓

項目**内容****Charger Name**

チャージャーの名称が表示されます。

IPEI

DECT モジュールの識別番号です。
IPEI (International Portable Equipment Identity)

FW Status

ファームウェアのアップデート状態が表示されます。
ファームウェアのアップデートが必要な場合は、⌚ が表示されます。
ファームウェアのアップデートは、[TOOLS] > [UPDATE] > [Firmware Update]で行えます。

⑤ [Microphone Status]

マイクロフォンの状態が表示されます。

Mic	Mute Group	Name	Identify	Type	IPEI	Link Quality	Audio	Dante Channel	Battery Status	Disconnect Time	Connect Time	FW Update Status
1	-	01-RM-WOM-035700D3D0	⌚	OM	035700D3D0	█ █	UC LL	1 9	98%	04:24:18 pm 10/21/2024	04:24:38 pm 10/21/2024	✓
2	-	02-RM-WOM-035700C5A0	⌚	OM	035700C5A0	█ █	UC LL	2	98%	04:24:18 pm 10/21/2024	04:24:40 pm 10/21/2024	✓
3	-	03-RM-WOM-035700D498	⌚	OM	035700D498	█ █	UC LL	3	98%	04:24:18 pm 10/21/2024	04:24:42 pm 10/21/2024	✓
4	-	04-RM-WOM-0357063E18	⌚	OM	0357063E18	█ █	UC LL	4	98%	04:24:18 pm 10/21/2024	04:24:44 pm 10/21/2024	✓
5	-	05-RM-WOM-035700D408	⌚	OM	035700D408	█ █	UC LL	5	98%	04:24:18 pm 10/21/2024	04:24:46 pm 10/21/2024	✓
6	-	06-RM-WOM-035700D320	⌚	OM	035700D320	█ █	UC LL	6	98%	04:24:18 pm 10/21/2024	04:25:12 pm 10/21/2024	✓
7	-	07-RM-WOM-035700D268	⌚	OM	035700D268	█ █	UC LL	7	98%	04:24:18 pm 10/21/2024	04:25:00 pm 10/21/2024	✓
8	-	08-RM-WOM-035700D410	⌚	OM	035700D410	█ █	UC LL	8	98%	04:24:18 pm 10/21/2024	04:25:02 pm 10/21/2024	✓

項目**内容****Mic**

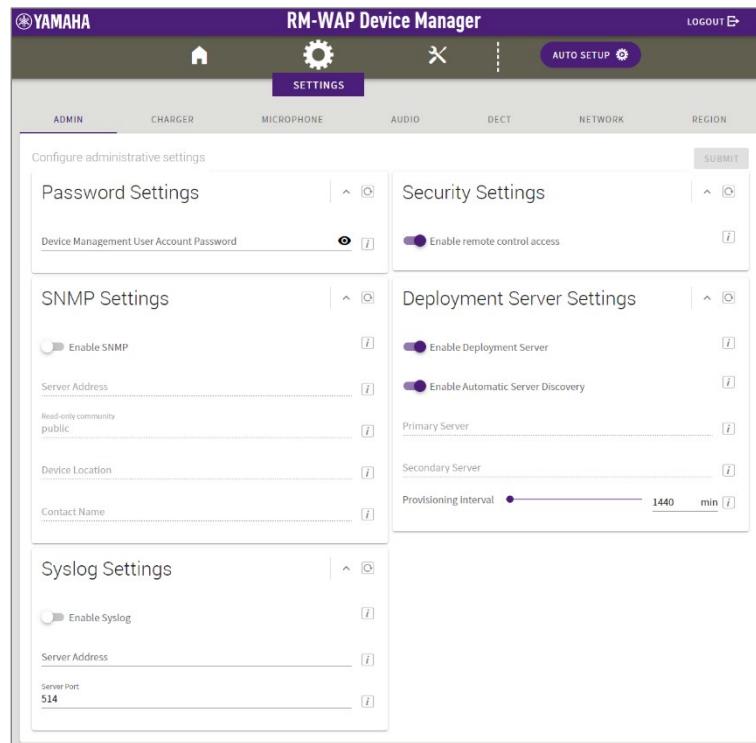
マイクロフォン番号が表示されます。

Mute Group	マイクロフォンのグループミュート機能に使用するグループ番号が表示されます。
Name	マイクロフォンの名称が表示されます。 マイクロフォンの名称は、[SETTINGS] > [MICROPHONE] > [Microphone Name]で変更できます。
Type	マイクロフォンのタイプが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [OM] (Omni) : 無指向 • [DR] (Directional) : 単一指向 • [GL] (Gooseneck Long) : グースネック(ロング) • [GS] (Gooseneck Short) : グースネック(ショート)
IPEI	DECT モジュールの識別番号です。 IPEI (International Portable Equipment Identity)
Link Quality	電波の強度がアンテナの数による 4 段階で表示されます。 緑アンテナ 3 本: 電波強度 -50dBm 以上 橙アンテナ 2 本: 電波強度 -70dBm ~ -50dBm 橙アンテナ 1 本: 電波強度 -70dBm 以下 白アンテナ 0 本: 切断状態
Audio	  アイコンをクリックするとマイクロフォンのチャンネル (RM-CR 側) の ON/OFF を切り替えることができます。 RM-WAP の UC (Unif.Comm) と LL (Low Latency) の信号レベルが表示されます。
Dante Channel	Dante チャンネルが表示されます。
Battery Status	バッテリーの残量が%と色で表示されます。 赤: 3% ~ 10%、1 時間 ~ 3 時間 黄: 10% ~ 50%、3 時間 ~ 15 時間 緑: 50%以上、15 時間以上
Disconnect Time	マイクロフォンとアクセスポイントが切断した時刻が表示されます。
Connect Time	マイクロフォンとアクセスポイントが接続した時刻が表示されます。
FW Update Status	ファームウェアのアップデート状態が表示されます。 ファームウェアのアップデートが必要な場合は、  が表示されます。 ファームウェアのアップデートは、[TOOLS] > [UPDATE] > [Firmware Update]で行えます。

[SETTINGS]

[ADMIN]

ADMIN 画面では、システム管理の設定をします。



① [Password Settings]

Password Settings

Device Management User Account Password

項目	内容
Device Management User Account Password	RM-WAP デバイスマネージャーにログインするためのパスワードを設定します。 (4 文字以上 16 文字以下の英数字)

② [Security Settings]

Security Settings

Enable remote control access [i]

項目	内容
Enable remote control access	リモートコントロールを有効にするかどうかを選択します。 アクセスポイントを RM-CR と連携させるときは、必ず有効にしてください。 リモートコントロールの詳細は「RM シリーズ リモートコントロールプロトコル仕様書」を参照してください。

③ [SNMP Settings]

SNMP Settings

Enable SNMP [i]

Server Address [i]

Read-only community
public [i]

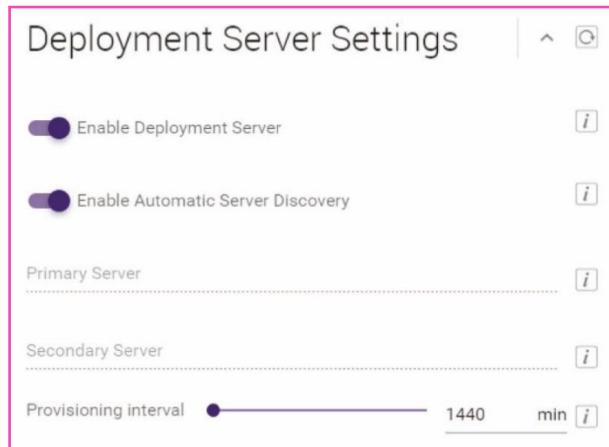
Device Location [i]

Contact Name [i]

項目	内容
Enable SNMP	SNMP を使用するかどうかを選択します。 使用する場合は、以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [Server Address] [Read-only community] [Device Location] [Contact Name] 初期設定：無効

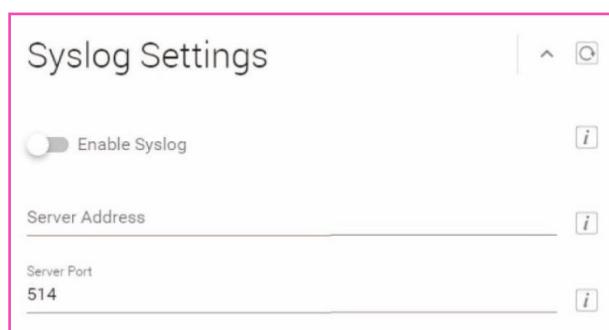
④ [Deployment Server Settings]

デプロイメントサーバーを使用すると、機器の設定ファイルを自動で取得して機器に反映できます。



項目	内容
Enable deployment server	デプロイメントサーバーを使用するかどうかを選択します。 初期設定：有効
Enable automatic server discovery	デプロイメントサーバーの自動検出機能を使用するかどうかを選択します。 使用しない場合は、デプロイメントサーバーのIPアドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Primary server] • [Secondary server]
Provisioning interval	デプロイメントサーバーへのプロビジョニング実行間隔を分単位で設定します。 初期設定：1,440分（1日） 設定範囲：0～44,640分（31日）

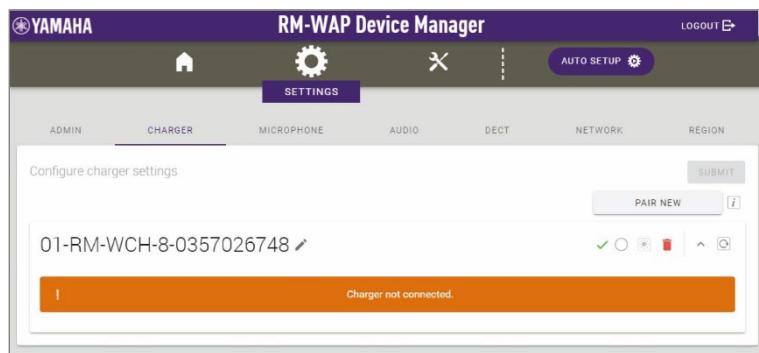
⑤ [Syslog Settings]



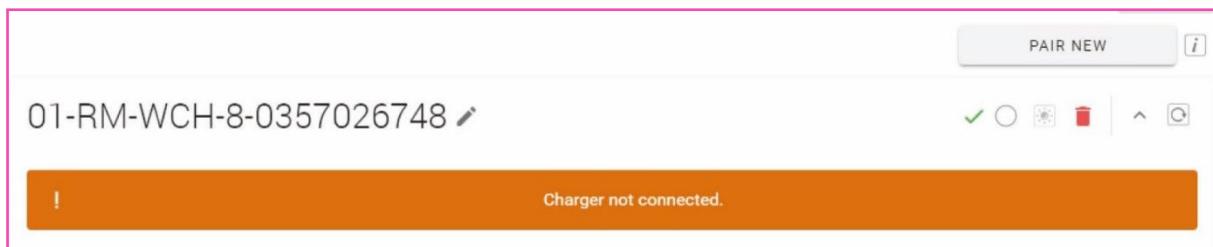
項目	内容
Enable Syslog	Syslogサーバーを使用するかどうかを選択します。 使用する場合は、以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Server Address] • [Server Port]（初期設定：514）

[CHARGER]

CHARGER 画面では、アクセスポイントとチャージャーをペアリングおよび接続します。



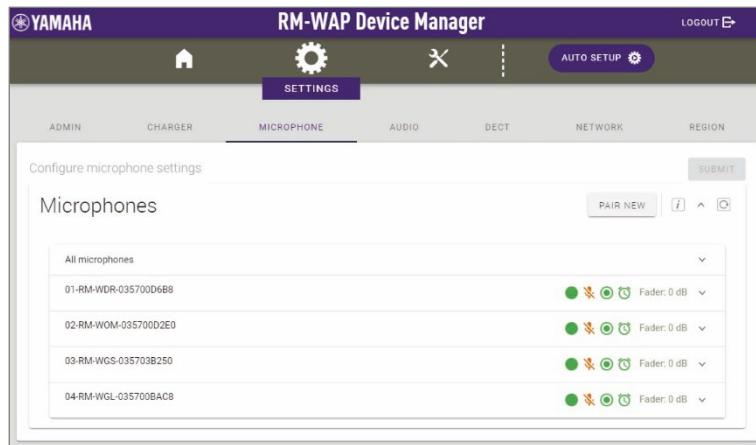
① [Chargers]



項目	内容
PAIR NEW	クリックするとアクセスポイントをペアリング待機状態にします。 続けてペアリングするにはチャージャー底面の PAIR ボタンを 2 秒以上長押しします。ペアリングが完了すると画面にチャージャーの名称が表示されます。
チャージャーの名称	チャージャーの名称を設定します。 チャージャーの名称を変更するには、 をクリックします。
[○] / [●]	クリックするとチャージャーの接続状態を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [○] : 切断 • [●] : 接続
	クリックするとチャージャーのペアリングを解除します。

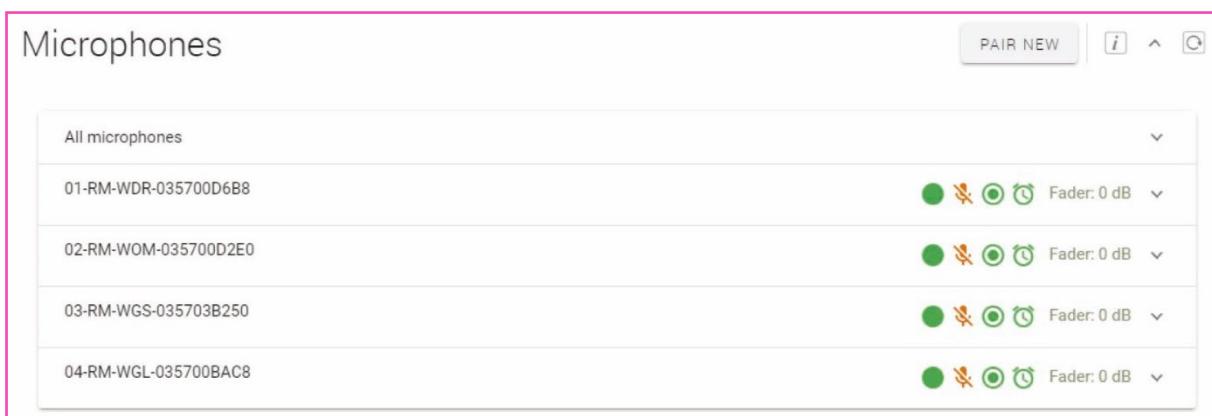
[MICROPHONE]

MICROPHONE 画面では、アクセスポイントとマイクロフォンをペアリングします。



① [Microphones]

アクセスポイントとマイクロフォンとをペアリングできます。



項目	内容
PAIR NEW	クリックするとアクセスポイントをペアリング待機状態にします。 続けてペアリングするにはマイクロフォン底面の PAIR ボタンを 2 秒以上長押ししてください。ペアリングが完了すると画面にマイクロフォンの名称が表示されます。
Start Mode	マイクロフォンをチャージャーから外した時やバッテリーを装着した時の起動モードが表示されます。
	● : スタートアップモードで起動します。 ■ : スタンバイモードで起動します。
Start Mute Mode	マイクロフォンが RM-WAP とワイヤレス接続を確立したときのミュートモードが表示されます。
	🔇 : マイクロフォンがオフで起動します。 🔊 : マイクロフォンがオンで起動します。

Mic Button Behavior

Mic ボタンの操作方法が表示されます。

: Mic ボタンが Toggle モードで動作します。

Mic ボタンにタッチすることでマイクロフォンのオン / オフが切り替えられます。

: Mic ボタンが Push to talk モードで動作します。

Mic ボタンにタッチしている間だけマイクロフォンがオンになります。同時に複数のデバイスが発信することはできません。

: Mic ボタンによる操作が無効です。

Mic ボタンによる操作が無効になります。

Alarm when out of area

マイクロフォンが DECT 接続の圏外にあることを、Mic インジケーターの点滅によって確認できるようにする設定が表示されます。

: DECT 接続の圏外アラーム設定が有効です。

: DECT 接続の圏外アラーム設定が無効です。

Fader Level

マイクロフォンのフェーダーレベルが表示されます。

設定範囲 : -128dB ~ +12dB

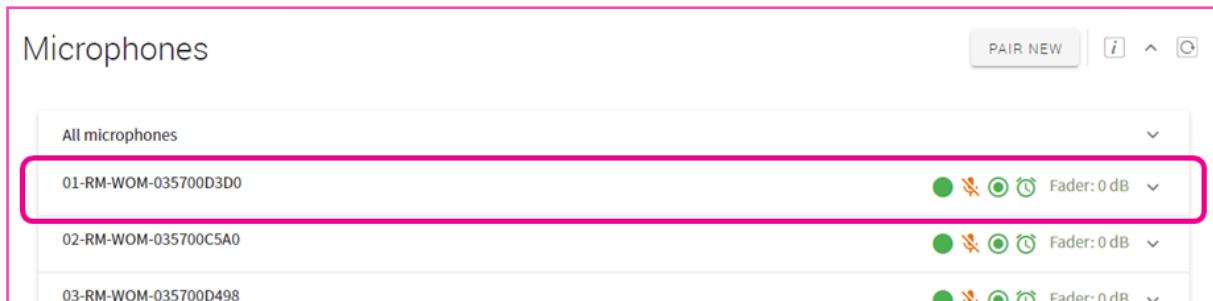
All microphones の行をクリックするとすべてのマイクロフォンを一括で設定する画面が展開します。

All microphones	01-RM-WOM-035700D3D0	02-RM-WOM-035700C5A0	03-RM-WOM-035700D498
	Fader: 0 dB	Fader: 0 dB	Fader: 0 dB

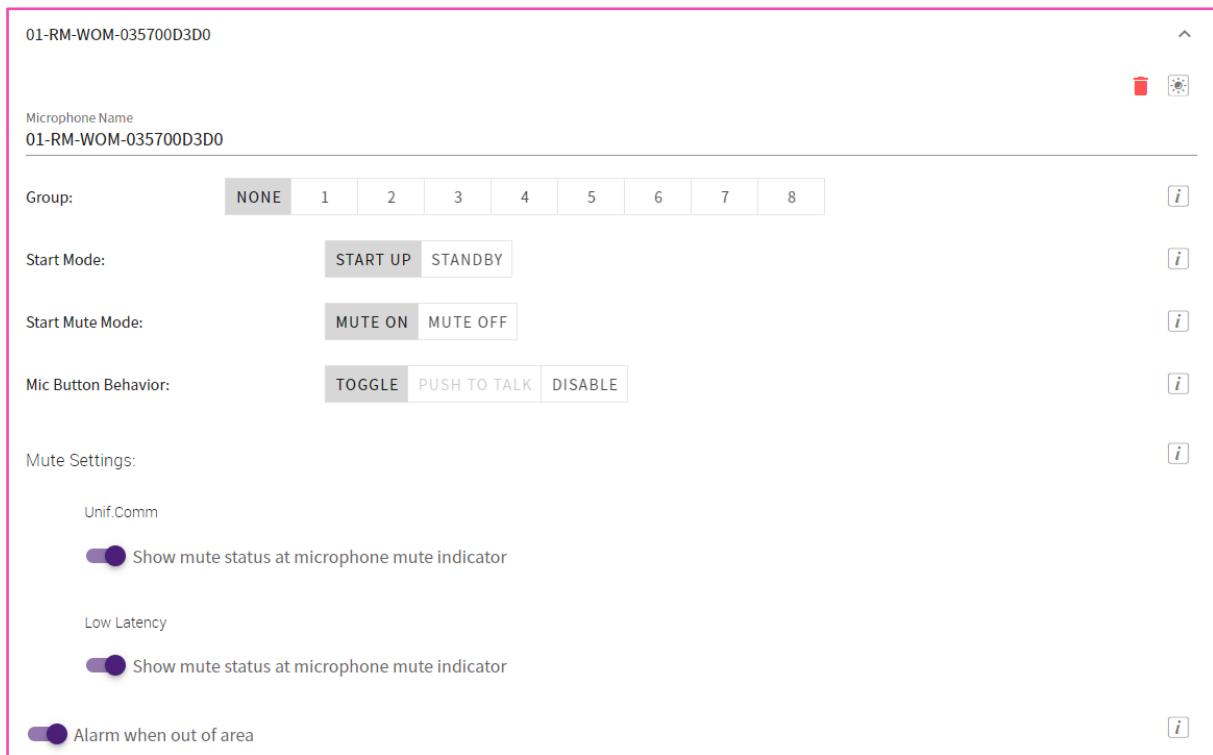
All microphones の画面

All microphones	Start Mode:	START UP	STANDBY	
	Start Mute Mode:	MUTE ON	MUTE OFF	
	Mic Button Behavior:	TOGGLE	PUSH TO TALK	DISABLE
	Mute Settings:	Unif.Comm		
		<input checked="" type="checkbox"/> Show mute status at microphone mute indicator		
		<input checked="" type="checkbox"/> Show mute status at microphone mute indicator		
	Alarm when out of area:	ON	OFF	

マイクロフォンの名称が表示された行をクリックするとマイクロフォンごとに設定する画面が展開します。



個別マイクロフォンの画面



項目	内容
Microphone Name	マイクロフォンの名称を設定します。
Group	マイクロフォンをグルーピングできます。グルーピングすると同じグループ番号の中でマイクロフォンのオン / オフが同期します。RM-CR と組み合わせて使う環境でグループミュート機能を使用するには、RM-CR の[SETTINGS] > [Peripheral] > [DEVICE SETTINGS] > [Enable microphone group mute control]を有効に設定してください。初期値は無効です。
Start Mode	マイクロフォンをチャージャーから外したときやバッテリーを装着したときの起動モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [START UP] • [STANDBY]
Start Mute Mode	マイクロフォンが RM-WAP とワイヤレス接続を確立したときのミュートモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [MUTE ON] • [MUTE OFF]

Mic Button Behavior

Mic ボタンの操作方法を選択します。

- [TOGGLE]
- [PUSH TO TALK] (RM-WGL / RM-WGS のみ対応)
- [DISABLE]

Mute Settings

マイクロフォンのミュート LED インジケーターが Unif.Comm、Low Latency、または両方のミュート状態と同期するかどうかを選択します。有効にするとミュート状態と同期します。

Alarm when out of area

マイクロフォンが DECT 接続の範囲外にあることを、Mic インジケーターの点滅によって確認できるようにするかどうかを選択します。



クリックするとペアリングを解除します。

[UNIF.COMM] [LOW LATENCY] ボタンを切り替えて以降の項目を設定します。これらは独立して設定できます。

- | | |
|---------------|---|
| [UNIF.COMM] | Unified Communication のことです。Basic Audio Settings と Advanced Audio Settings が表示されます。 |
| [LOW LATENCY] | DSP の処理をスキップすることで音声の遅延を抑えます。Basic Audio Settings だけが表示されます。 |

- Basic Audio Settings

All microphones の画面

Fader Level: 0 dB

High Pass Filter: NONE 110 Hz 140 Hz 175 Hz 225 Hz i

Low Pass Filter: NONE 4 kHz 8 kHz 12 kHz i

個別マイクロフォンの画面

Fader Level: 0 dB

High Pass Filter: None i

Low Pass Filter: None i

項目	内容
Fader Level	マイクロフォンのフェーダーレベルを設定します。 設定範囲：-128dB ~ +12dB
High Pass Filter	High Pass フィルターの設定を選択します。 [None / 110 Hz / 140 Hz / 175 Hz / 225 Hz]
Low Pass Filter	Low Pass フィルターの設定を選択します。 [None / 4 kHz / 8 kHz / 12 kHz]

- Advanced Audio Settings

All microphones の画面

Input Gain:	OFF	LOW	MEDIUM	HIGH	<i>[i]</i>
Adaptive Echo Canceller:	OFF	LOW	MEDIUM	HIGH	<i>[i]</i>
Noise Reduction:	OFF	LOW	MEDIUM	HIGH	<i>[i]</i>
Dereverberation:	OFF	LOW	MEDIUM	HIGH	<i>[i]</i>
AGC Type:	OFF	LOW	MEDIUM	HIGH	<i>[i]</i>
AGC Speed:	LOW	HIGH			<i>[i]</i>

個別マイクロフォンの画面

Input Gain	High(18dB)	<i>[i]</i>
Adaptive Echo Canceller	Medium	<i>[i]</i>
Noise Reduction	Medium	<i>[i]</i>
Dereverberation	Medium	<i>[i]</i>
AGC Type	High	<i>[i]</i>
AGC Speed	High	<i>[i]</i>

項目

内容

Input Gain

マイクロフォンの入力ゲインを設定します。
[Off (0 dB) / Low (6 dB) / Medium (12 dB) / High (18 dB)]

Adaptive Echo Canceller

遠隔会議時に問題となるスピーカーからの廻り込みや壁の反射によって発生するエコーや空調などの恒常的なノイズを除去する機能です。エコーチャンセラーのかかり具合の強さを選択します。

- [Off] :
エコーチャンセラーを使用しません。
- [Low] :
元となる音声の音質を維持しながらエコーを抑制します。
- [Medium] : (初期設定)
バランスの良い音質とエコーチャンセルの強さの設定です。
- [High] :
エコーチャンセラーが強く働きます。残響音が長い部屋やエコーが発生しやすい部屋の場合に選択してください。

Noise Reduction

定常ノイズに対するノイズリダクションの強さを選択します。

- [Off] :
ノイズリダクションを使用しません。
- [Low] :
元となる音声の音質を維持しながら、定常ノイズを抑制します。
- [Medium] : (初期設定)
バランスの良い音質とノイズリダクションの強さの設定です。
- [High] :
ノイズリダクションが強く働きます。大きなファンや空調システムの定常ノイズが大きい部屋の場合に選択してください。

Dereverberation

残響成分が含まれる音声から残響成分を差し引いて明瞭な音声にする機能です。残響成分を除去する強さを選択します。

- [Off] :
残響抑圧機能を使用しません。
- [Low] :
残響音が短い部屋の場合に選択してください。
- [Medium] : (初期設定)
通常の環境で使用いただける設定です。バランスの良い音質と残響抑圧の強さの設定です。
- [High] :
残響抑圧が強く働きます。ガラス張りの部屋などの残響時間が長い部屋の場合に選択してください。

AGC Type

AGC (Auto Gain Control) は、音声レベルを安定させるために出力ゲインを自動的に調整する機能です。小さい声の音量レベルを上げ、大きすぎる声の音量を下げます。AGC のかかり具合の強さを選択します。

- [Off] :
AGC を使用しません。
- [Low] :
バランスの良い音量変化の設定です。
- [High] : (初期設定)
AGC が強く働きます。

AGC Speed

AGC の音量変更に対する反応速度を選択します。

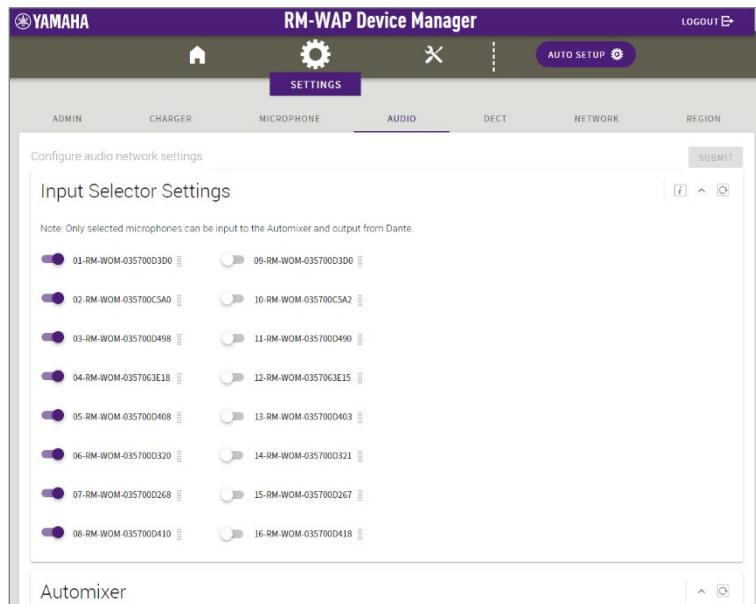
- [Low] :
バランスの良い反応速度です。
- [High] : (初期設定)
音量変更に素早く反応します。



項目	内容
Enable PEQ	PEQ (Parametric EQ) を有効にするかどうかを選択します。RM-CR 以外のプロセッサーと組み合わせて使用する場合に効果を発揮します。
Band / Type / Q / Frequency / Gain / Bypass	6 バンドの PEQ をバンドごとに設定します。 Band A と Band F の Type は、PEQ、L.SHELF-6dB/Oct、L.SHELF-12dB/Oct、H.SHELF-6dB/Oct、H.SHELF-12dB/Oct、HPF、LPF の中から選択できます。

AUDIO

AUDIO 画面では、使用するマイクロフォンの選択と Automixer の設定、マイクロフォンの Dante チャンネルの割り当てをします。



① [Input Selector Settings]

アクセスポイントとペアリングしているマイクロフォンが表示されます。で有効にするマイクロフォンを選択します。有効にできるマイクロフォンの台数はアクセスポイントにより異なります。

- RM-WAP-16 : マイクロフォン 16 台
- RM-WAP-8 : マイクロフォン 8 台

有効にしたマイクロフォンの音声だけが Automixer と Dante チャンネルに入力できます。

Input Selector Settings

Note: Only selected microphones can be input to the Automixer and output from Dante.

<input checked="" type="checkbox"/>	01-RM-WOM-035700D3D0	<input type="checkbox"/>	09-RM-WOM-035700D3D0
<input checked="" type="checkbox"/>	02-RM-WOM-035700C5A0	<input type="checkbox"/>	10-RM-WOM-035700C5A2
<input checked="" type="checkbox"/>	03-RM-WOM-035700D498	<input type="checkbox"/>	11-RM-WOM-035700D490
<input checked="" type="checkbox"/>	04-RM-WOM-0357063E18	<input type="checkbox"/>	12-RM-WOM-0357063E15
<input checked="" type="checkbox"/>	05-RM-WOM-035700D408	<input type="checkbox"/>	13-RM-WOM-035700D403
<input checked="" type="checkbox"/>	06-RM-WOM-035700D320	<input type="checkbox"/>	14-RM-WOM-035700D321
<input checked="" type="checkbox"/>	07-RM-WOM-035700D268	<input type="checkbox"/>	15-RM-WOM-035700D267
<input checked="" type="checkbox"/>	08-RM-WOM-035700D410	<input type="checkbox"/>	16-RM-WOM-035700D418

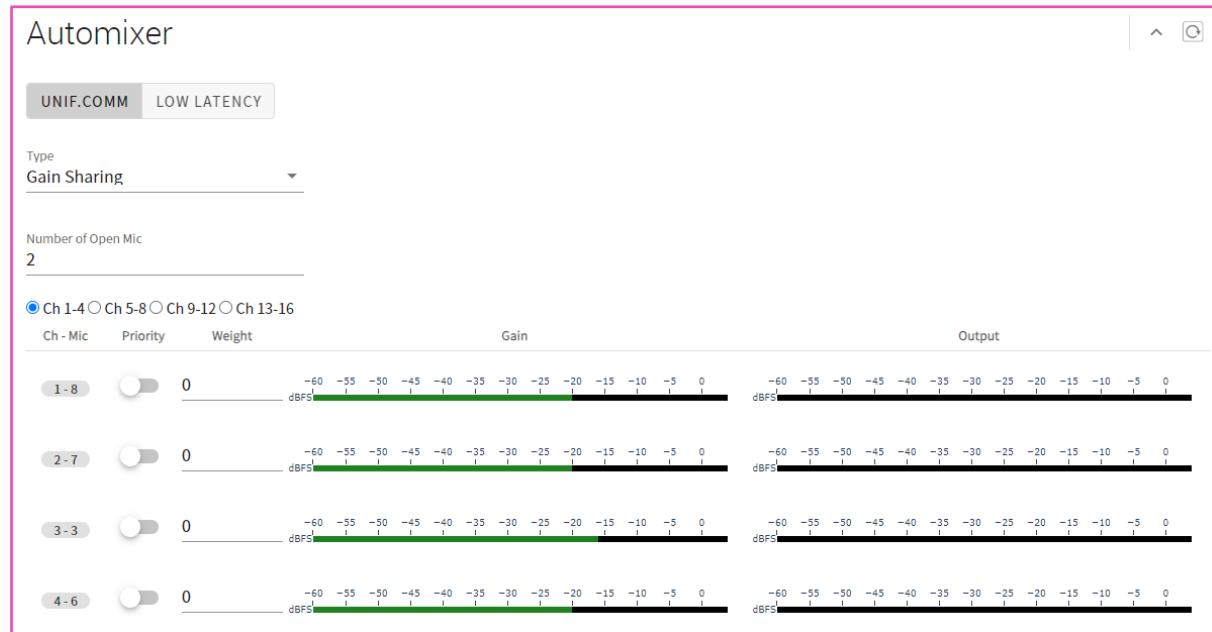
② [Automixer]

すべての有効なマイクロフォンの入力音声レベルを自動調整して1つの信号にできます。

[UNIF.COMM] [LOW LATENCY]ボタンを切り替えてそれぞれを設定できます。

Type が Gating と Gain Sharing とで設定項目が異なります。

Type: Gain Sharing



項目

内容

Type

オートミキサー処理のタイプを選択します。

- [Gain Sharing] : 複数の入力音声のゲインの総和が常に等しくなるように、各チャンネルのゲインを調整するタイプです。
- [Gating] : チャンネルの入力音声が処理の対象かどうかを入力レベルの閾値で判別するタイプです。

Number of Open Mic

同時発話時にオートミックスの対象となる有効なマイクロフォンの本数を設定します。

Ch

表示する入力チャンネルを選択します。

Ch - Mic

Ch : 入力チャンネル番号

Mic : ペアリングで割り当てられたマイクロフォン番号

Priority

音量レベルの優先度が高いチャンネルには、[Priority]をONに設定してください。

[Priority]をONに設定すると、入力レベルを保ったままミックスされます。

OFFにすると、オートミックス処理した音量レベルになります。

Weight

オートミックスレベルの重みづけを設定します。

大きい値を指定するほど、オートミックス後の音量レベルが大きくなります。

入力範囲 : -30~15 dB

[Weight]を設定しても、[Priority]がONのチャンネルには効果がありません。

Gain

入力信号レベルを表示します。

Output

出力信号レベルを表示します。

Type: Gating



項目

内容

Type

オートミキサー処理のタイプを選択します。

- [Gain Sharing]：複数の入力音声のゲインの総和が常に等しくなるように、各チャンネルのゲインを調整するタイプです。
- [Gating]：チャンネルの入力音声が処理の対象かどうかを入力レベルの閾値で判別するタイプです。

Last Mic On

最後に有効になったマイクロフォンの入力レベルが閾値を下回ってもマイクロフォンを有効なままにします。

Number of Open Mic

同時発話時にオートミックスの対象となる有効なマイクの本数を設定します。

Threshold[dB]

ゲートが開く入力レベルの閾値を設定します。入力レベルが閾値を超えたマイクロフォンが有効なマイクロフォンになります。

Range[dB]

ゲートが閉じているときに適用されるゲインを設定します。

Hold[ms]

入力レベルが閾値を下回った後にゲートが閉じ始めるまでの待ち時間を設定します。

Ch

表示する入力チャンネルを選択します。

Ch - Mic

Ch : 入力チャンネル番号
Mic : ペアリングで割り当てられたマイクロフォン番号

Priority

音量レベルの優先度が高いチャンネルには、[Priority]を ON に設定してください。
[Priority]を ON に設定すると、入力レベルを保ったままミックスされます。
OFF にすると、オートミックス処理した音量レベルになります。

Gain

入力信号レベルを表示します。

Output

出力信号レベルを表示します。

③ [Dante Channels Setup]

Dante Channels Setup		
Output channel	Name	Type
1	01-RM-WOM-035700D3D0 Unif.Comm	OM
2	02-RM-WOM-035700C5A0 Unif.Comm	OM
3	03-RM-WOM-035700D498 Unif.Comm	OM
4	04-RM-WOM-0357063E18 Unif.Comm	OM
5	05-RM-WOM-035700D408 Unif.Comm	OM
6	06-RM-WOM-035700D320 Unif.Comm	OM
7	07-RM-WOM-035700D268 Unif.Comm	OM
8	08-RM-WOM-035700D410 Unif.Comm	OM
9	Automixer output for Low Latency	
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
⋮	01-RM-WOM-035700D3D0 Low Latency	OM
⋮	02-RM-WOM-035700C5A0 Low Latency	OM
⋮	03-RM-WOM-035700D498 Low Latency	OM
⋮	04-RM-WOM-0357063E18 Low Latency	OM
⋮	05-RM-WOM-035700D408 Low Latency	OM
⋮	06-RM-WOM-035700D320 Low Latency	OM
⋮	07-RM-WOM-035700D268 Low Latency	OM
⋮	08-RM-WOM-035700D410 Low Latency	OM
⋮	Automixer output for Unif.Comm	
⋮		

Dante 出力チャンネルのマイクロフォンチャンネルの割り当てを確認できます。

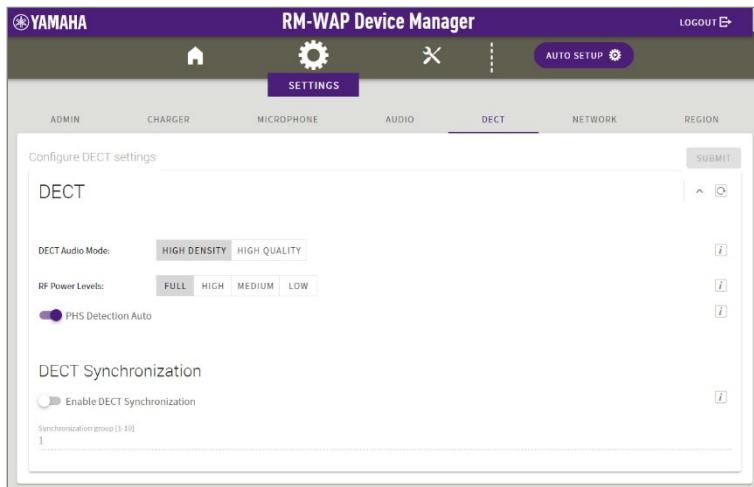
割り当てを変更するには、マイクロフォンチャンネルの名称部分をドラッグし任意の Dante 出力チャンネルの行にドロップします。Dante 出力チャンネルの表示がないマイクロフォンチャンネルは出力されません。

マイクロフォンチャンネルには、以下の種類があります。

(マイクロフォン名) Unif.Comm	個別のマイクロフォンの音声 (Unif.Comm) チャンネル
(マイクロフォン名) Low Latency	個別のマイクロフォンの音声 (Low Latency) チャンネル
Automixer output for Unif.Comm	すべての有効なマイクロフォンの音声 (Unif.Comm) を1つのチャンネルにミックスしたもの
Automixer output for Low Latency	すべての有効なマイクロフォンの音声 (Low Latency) を1つのチャンネルにミックスしたもの

[DECT]

DECT 画面では、DECT の通信に関する設定をします。



① [DECT]

DECT Audio Mode:	HIGH DENSITY HIGH QUALITY	<i>[info]</i>
RF Power Levels:	FULL HIGH MEDIUM LOW	<i>[info]</i>
<input checked="" type="checkbox"/> PHS Detection Auto <i>[info]</i>		

項目	内容
DECT Audio Mode	アクセスポイントを High Density モードにするか、High Quality モードにするかを選択します。 High Quality モードの方が、High Density モードと比べて音声品質が高いですが、最大で使用できるマイクロフォンの数が少なくなることがあります。
RF Power Levels	電波強度を選択します。 距離は、おおよその最大通信距離です。環境によって異なる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • [FULL] : 63.9m • [HIGH] : 29.6m • [MEDIUM] : 13.7m • [LOW] : 6.34m
PHS Detection Auto	PHS を自動で検出するかどうかを選択します。 有効にした場合は、PHS が検出されない限り、RM-WAP はキャリア 3 と 4 をマイクロフォンシステムに使用します。 無効にした場合は、RM-WAP は PHS システムが使用する可能性があるキャリア 3 と 4 を使用しません。

② [DECT Synchronization]

DECT Synchronization

 Enable DECT Synchronization

Synchronization group [1-10]

1

項目

内容

Enable DECT Synchronization

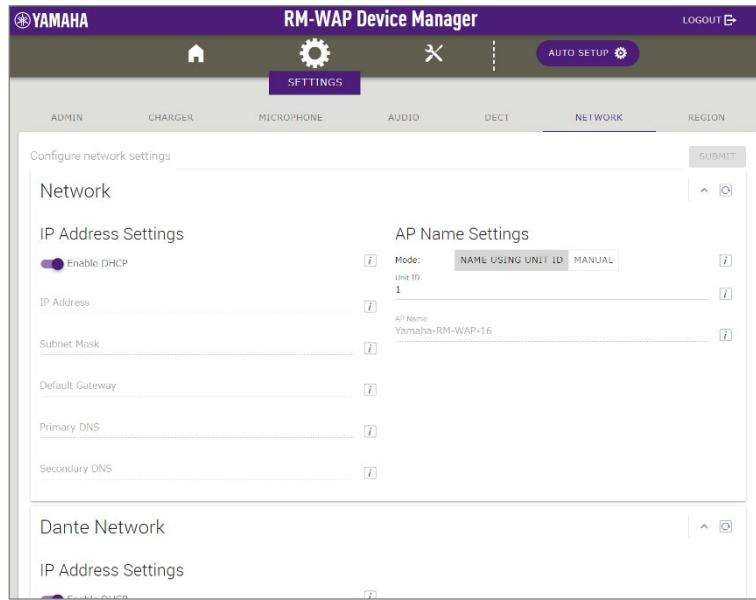
複数のアクセスポイント間で DECT のフレームを同期させるかどうかを選択します。

同期させることにより、利用可能な DECT チャンネル数が最適化され、グループ化されたシステム間の DECT 干渉が減少します。

同期させる場合は、有効にして、同期させたい機器を同一の [Synchronization group] に設定します。

[NETWORK]

NETWORK 画面では、本製品を使用するネットワークの設定をします。



① [Network] - [IP Address Settings]

Network

IP Address Settings

Enable DHCP

IP Address

Subnet Mask

Default Gateway

Primary DNS

Secondary DNS

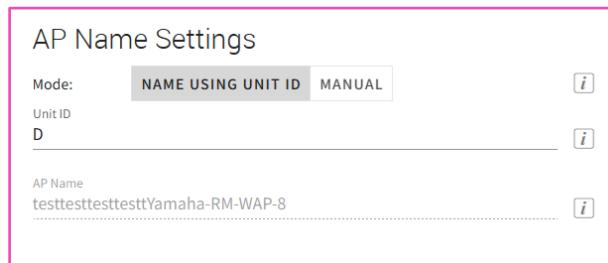
項目	内容
Enable DHCP	<p>DHCP を使用するかどうかを選択します。</p> <p>DHCP を使用するに設定した場合に、DHCP サーバーが存在しないときは Auto IP モードによる IP アドレスが設定されます。誤って設定をしてしまった場合は、RM-WAP 前面の Reset ボタンでネットワーク関連の設定をリセットしてください。</p> <p>静的 IP アドレスを割り当てる場合は、[Enable DHCP]を無効にして、以下のように静的 IP アドレスを設定します。（XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> • [IP address] • [Subnet mask]

- [Default gateway]
- [Primary DNS]
- [Secondary DNS]

② [Network] - [AP Name Settings]

本製品のホスト名を自動または手動で設定できます。

ホスト名は、RM Device Finder、SNMP、Dante 上で機器の名称として使用されます。



項目	内容
Mode	ホスト名についてユニット ID を使って自動で設定するか、手動で設定するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [NAME USING UNIT ID]（自動）：ユニット ID とモデル名と MAC アドレスの一部から自動で生成されます。生成されたホスト名は、[HOME] > [System Status]で確認できます。 例：Y001-Yamaha-RM-WAP-16-a28fca • [MANUAL]（手動）：手動で設定します。[AP Name]欄に入力します。
Unit ID	ユニット ID を設定します。16進数（半角）で入力します。 [MANUAL]選択時は、使用されません。
AP Name	[NAME USING UNIT ID]選択時は、自動で生成されたホスト名が表示されます。 [MANUAL]選択時は、ホスト名を入力します。Dante ホスト名は、このホスト名に Dante の MAC アドレスの一部を加えたものになります。

③ [Dante Network] - [IP Address Settings]

Dante を使用するネットワークを設定できます。

Dante Network

IP Address Settings

Enable DHCP [i]

IP Address [i]

Subnet Mask [i]

Default Gateway [i]

Primary DNS [i]

項目

内容

Enable DHCP

DHCP を使用するかどうかを選択します。

静的 IP アドレスを割り当てる場合は、[Enable DHCP]を無効にして、以下のように静的 IP アドレスを設定します。（XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。）

- [IP address]
- [Subnet mask]
- [Default gateway]
- [Primary DNS]

④ [802.1X Settings]

ネットワークセキュリティについて手動で設定する場合に使用します。

802.1X Settings

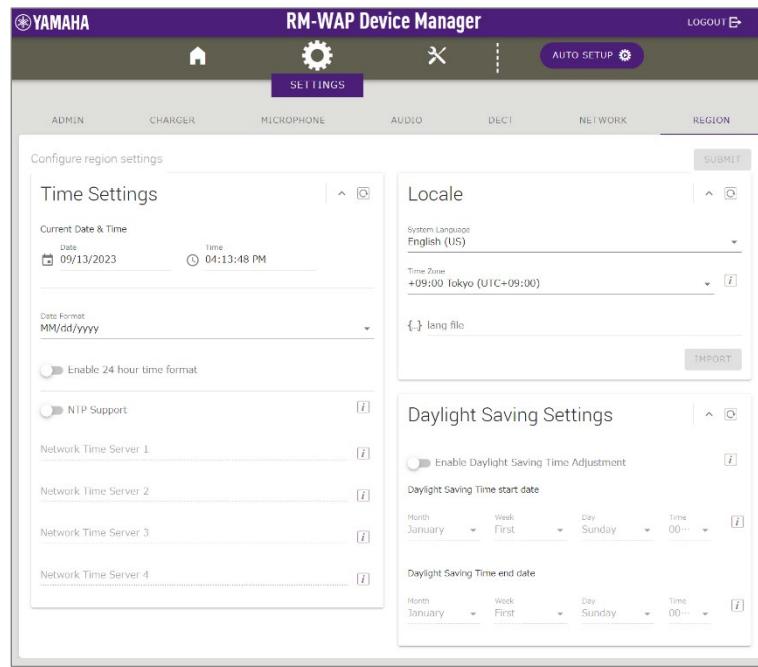
Note: Dante traffic uses a different MAC address than data traffic, even when using the same network port. 802.1X settings do not apply to the Dante communication.

<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	[i]
Authentication method EAP-MD5	[i]
Identity	[i]
Anonymous Identity	[i]
Password	<input checked="" type="radio"/> [i]
Private Key	<input type="radio"/> [i]
Certificate	[i]
[i] Certificate	
UPLOAD CERTIFICATE REMOVE CERTIFICATE	

項目	内容
Enable	IEEE802.1X 認証を使用するかどうかを選択します。
Authentication method	<p>認証方式を選択します。 認証方式に合わせて以下の項目を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Identity] • [Anonymous Identity] • [Password] • [Private Key] • [Certificate] <p>[i] アイコンをクリックして任意の証明書を選択します。</p>
UPLOAD CERTIFICATE	クリックすると証明書をアップロードします。
REMOVE CERTIFICATE	クリックすると証明書を削除します。

[REGION]

REGION 画面では、本製品を使用する地域や時間に関する設定をします。



① [Time Settings]

Time Settings

Current Date & Time

Date: 09/13/2023 Time: 04:13:48 PM

Date Format: MM/dd/yyyy

Enable 24 hour time format

NTP Support

Network Time Server 1

Network Time Server 2

Network Time Server 3

Network Time Server 4

項目	内容
Current Date & Time	日時を設定します。
Date Format	日付の表示形式を選択します。
Enable 24 hour time format	24 時間表示形式にするかどうかを選択します。
NTP Support	<p>NTP (Network Time Protocol) を使用するかどうかを選択します。 NTP を使用する場合は、Network Time Server の URL を設定します。 NTP を使用すると、インターネット経由で正確な時刻を取得できます。この時 刻はログデータに使用され、システムの管理/監視/トラブルシューティング時 に有用です。</p> <p>初期設定：有効</p>

② [Locale]

Locale

System Language
English (US)

Time Zone
+09:00 Tokyo (UTC+09:00) [i]

{...} lang file

IMPORT

項目	内容
System Language	<p>インフォメーションアイコンにマウスを重ねると、その項目に関する詳細情報 がポップアップ表示されます。表示に使用する言語を選択します。初期設定 は、English (US)です。[Custom]に変更することもできます。[Custom]を 使用するには、[...] lang file]で言語ファイルをインポートする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • English (US) • Custom
Time zone	タイムゾーンを選択します。
{...} lang file	インフォメーションアイコンで表示する言語の言語ファイルをインポートしま す。

③ [Daylight Saving Settings]

Daylight Saving Settings

Enable Daylight Saving Time Adjustment i

Daylight Saving Time start date

Month: January Week: First Day: Sunday Time: 00... i

Daylight Saving Time end date

Month: January Week: First Day: Sunday Time: 00... i

項目

内容

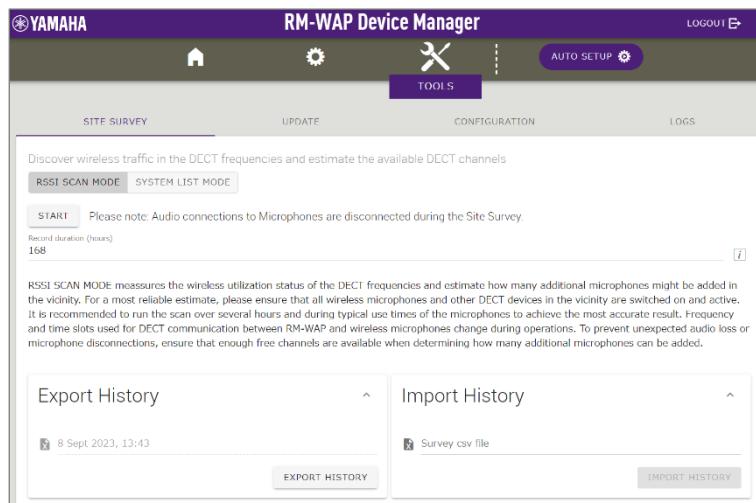
Enable Daylight Saving Time Adjustment

本製品をサマータイムに対応させるかどうかを選択します。
有効にする場合は、サマータイムの開始日時と終了日時を設定します。
初期設定：無効

[TOOLS]

[SITE SURVEY]

[START]ボタンをクリックするとアクセスポイントが設置環境の電波強度とチャンネルの使用状況を測定します。



ご注意

電波干渉が発生した場合、予期せずマイクロфонの音声が無音になったり、マイクロфонの接続が切断されたりすることがあります。設置前に十分に調査することをおすすめします。

① お知らせ

[SITE SURVEY]画面の読み方については、「RM シリーズ ワイヤレスソリューション リファレンスマニュアル」の解説「SITE SURVEY 画面の読み方」を参照してください。

SITE SURVEY の結果の EXPORT と IMPORT

SITE SURVEY の結果をファイルとして保存したり、保存したファイルを読み込んで表示したりできます。

The screenshot shows two side-by-side sections. The left section, titled 'Export History', contains a single entry: '8 Sept 2023, 13:43' with a small file icon. Below it is a button labeled 'EXPORT HISTORY'. The right section, titled 'Import History', has a placeholder text 'Survey csv file' with a small file icon. Below it is a button labeled 'IMPORT HISTORY'.

① [Export History]

SITE SURVEY の結果をファイルとして保存できます。

項目	内容
EXPORT HISTORY	保存先を指定して、SITE SURVEY の結果をファイルに保存します。

② [Import History]

SITE SURVEY の結果ファイルを読み込むことができます。

項目	内容
X	SITE SURVEY の結果ファイルを選択します。
IMPORT HISTORY	選択した SITE SURVEY の結果ファイルを読み込みます。 SITE SURVEY の結果が表示されます。

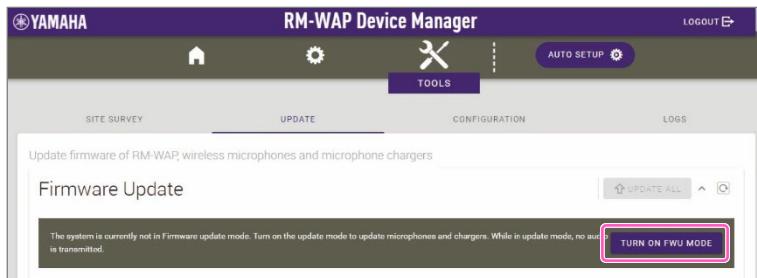
[UPDATE]

UPDATE 画面では、アクセスポイント、マイクロフォン、チャージャーのファームウェアをアップデートできます。

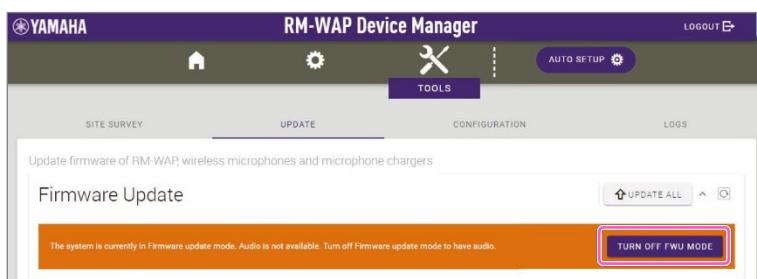
マイクロフォンとチャージャーのファームウェアは、アクセスポイントのファームウェアに含まれています。はじめにアクセスポイントのファームウェアをアップデート（Upload New Firmware）してください。

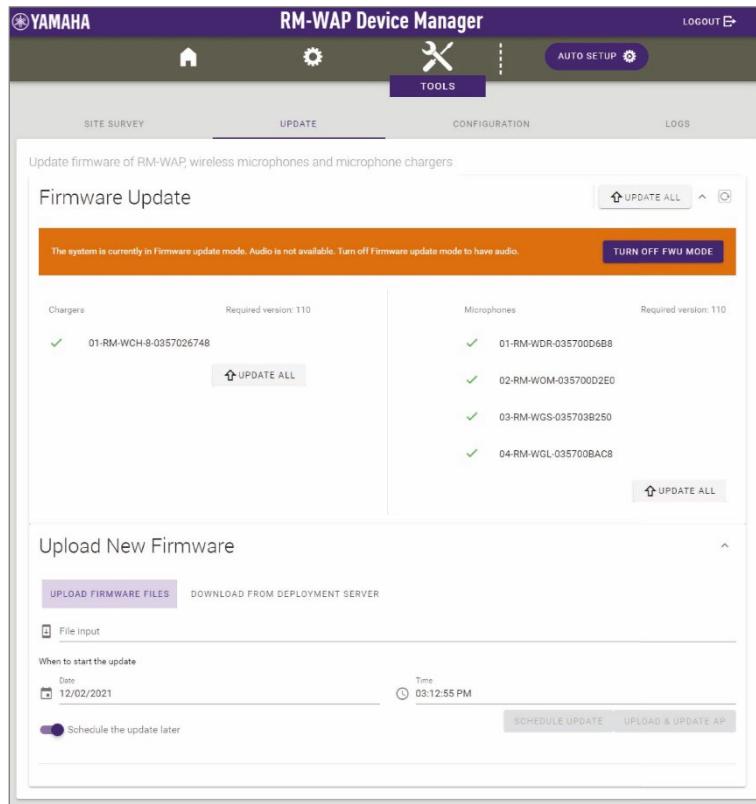
① お知らせ

- ファームウェアをアップデートする前には必ず[TURN ON FWU MODE]ボタンをクリックしてください。



- ファームウェアをアップデートしたあとは必ず[TURN OFF FWU MODE]ボタンをクリックしてください。





① [Firmware Update]

チャージャーおよびマイクロフォンのファームウェアをアップデートできます。

This is a detailed view of the 'Firmware Update' section from the previous screenshot. The interface is identical, showing the same list of chargers and microphones with their required firmware versions. The 'UPDATE ALL' buttons and the status message are also present. The entire content area is highlighted with a pink border.

項目

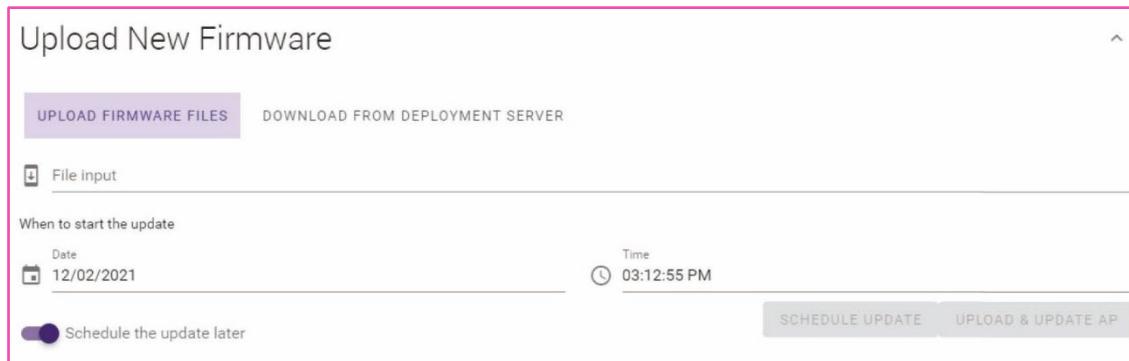
内容

UPDATE ALL

クリックするとチャージャーおよびマイクロフォンのファームウェアをアップデートできます。
チャージャーおよびマイクロフォンとアクセスポイントとを事前にペアリングしておく必要があります。ペアリングの方法は、14、15ページを参照してください。

② [Upload New Firmware]

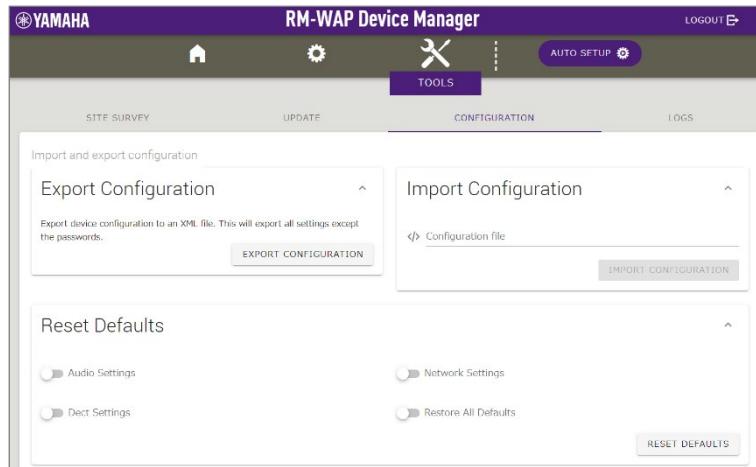
アクセスポイントのファームウェアをアップデートできます。



項目	内容
UPLOAD FIRMWARE FILES	<p>任意のファームウェアを使用するモードです。</p> <p>□ (File input) アイコンをクリックして任意のファームウェアを選択します。 任意のファームウェアを下線部に直接ドラッグ & ドロップすることもできます。 アップデートを実施するには[UPLOAD & UPDATE AP]ボタンをクリックします。</p>
DOWNLOAD FROM DEPLOYMENT SERVER	<p>デプロイメントサーバーからダウンロードしたファームウェアを使用するモードです。</p> <p>[CHECK NOW]ボタンをクリックして使用可能なファームウェアがあるかを確認します。アップデートを実施するには[UPDATE AP]ボタンをクリックします。</p>
Schedule the update later	<p>アップデートが任意の時刻に自動で実施されるように設定します。</p> <p>アップデートを開始する日時を指定し、[SCHEDULE UPDATE]ボタンをクリックします。</p>

【CONFIGURATION】

CONFIGURATION 画面では、本製品の設定をエクスポート、インポート、リセットできます。



① [Export Configuration]

Export Configuration

Export device configuration to an XML file. This will export all settings except the passwords.

EXPORT CONFIGURATION

項目

EXPORT CONFIGURATION

内容

クリックすると本製品の設定をエクスポートします。

② [Import Configuration]

Import Configuration

</> Configuration file

IMPORT CONFIGURATION

項目

IMPORT CONFIGURATION

内容

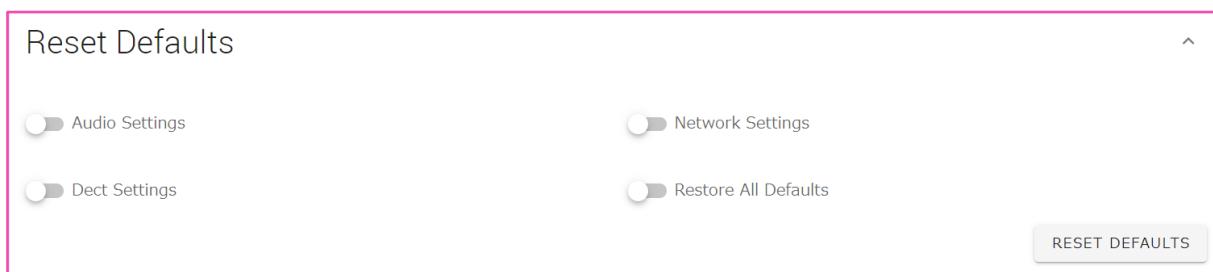
クリックすると本製品の設定をインポートします。

</> をクリックして任意の設定ファイルを選択し、[IMPORT CONFIGURATION]ボタンをクリックします。

お知らせ：

- インポート用の設定ファイルは①でエクスポートしたものを編集して作成してください。
- 任意の設定ファイルを下線部にドラッグ & ドロップすることもできます。

③ [Reset Defaults]



項目

内容

RESET DEFAULTS

クリックすると設定をリセットします。

- [Audio Settings] : オーディオ設定をリセットする
- [Dect Settings] : DECT 設定をリセットする
- [Network Settings] : ネットワーク設定をリセットする
- [Restore All Defaults] : 工場出荷設定に戻す

ご注意

リセットする設定を確認の上、実行してください。

① お知らせ

[DECT] > [DECT] > [DECT Audio Mode]の設定は、以下を選択した場合にリセットされます。

- [Audio Settings]
- [Restore All Defaults]

[LOGS]

LOGS 画面では、ログをダウンロードできます。



① [Logs]

Logs

DOWNLOAD LOGS

項目

内容

DOWNLOAD LOGS

クリックするとログをダウンロードします。
ログには、エラーや警告、アクションが記録されます。

